

課題名	献体脳を用いた脳実質内手術に関連する脳皮質解剖及び白質解剖に関する解剖および脳神経外科手術のサージカルトレーニング（手術手技研修）
意義・目的	献体脳を用い脳回、脳溝、脳白質解剖など脳の3次元的な解剖構造を理解するために解剖実習を行います。また、MRI 画像解析から得られている知識と実際の解剖学的知見を統合し、実臨床の診療、手術の診療成績及び安全性の向上に寄与することを目的としています。
期間	機関の長の実施許可日 ~ 2029 年 3 月
協力を お願いしたい方 (対象者)	大阪公立大学医学部に医学教育研究の解剖用のために「大阪公立大学 みおつくし会」に寄贈されたご献体が対象となります。
利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
	<p>「死体解剖保存法」「献体法」および「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」を遵守します。本実習で知り得た情報は、個人が特定できる形ではいかなる状況においても公表せず、かつ厳重な管理下で保管されます。</p> <p>【遺体による手術手技研修等の臨床系診療科の実施代表者】 脳神経外科 補職名：教授 氏名：後藤剛夫</p> <p>【解剖学教室の指導監督者】 池田一雄 大阪公立大学大学院医学研究科 機能細胞形態学 教授 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話：06-6645-3701, 3706</p>